

## 九州歯科技工専門学校学校関係者評価結果（令和3年度）

評価対象期間：令和2年11月1日～令和3年10月31日

評価日：令和3年11月13日

評価者：藤谷 正峰、柴田 直、谷川 正彦、田中 正剛

### （1）教育理念・目標

評価項目	評点
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4
理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	5
（特記事項） 特に問題はないと考えられる。	

### （2）学校運営

評価項目	評点
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、また、有効に機能しているか	4
人事・給与に関する規定等は整備されているか	3
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	5
情報システム化等による業務の効率化が図れているか	3
（特記事項） ギコウグループの運営に変わり約3年、色々改革を進めて来たが、全教職員にその全ては伝わりきれていない感じがあり、温度差を感じる時がある。今後の課題としては、運営の背景を含めた共通認識がもっとできるようにしていただきたい。	

(3) 教育活動

評価項目	評点
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	5
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	5
関連分野における実践的な職業教育（産学連携による職業体験・インターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4
職業教育等に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	5
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	5
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	2
関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	5
関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	5
職員の能力開発のための研修等が行われているか	5
<p>(特記事項)</p> <p>昨年同様に若干教員数が少ないので早急に優秀な教員の補充を求める。特に歯科技工士免許保有者でかつ臨床経験のある教員の補充が必須であると考えられる。今年度も昨年度同様に企業による実習も行っており、次年度はもっと高度で実践的な内容を教授できるようにしていただきたい。</p>	

(4) 学修成果

評価項目	評点
就職率の向上が図られているか	5
資格取得率の向上が図られているか	4
退学率の低減が図られているか	4
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	5

(特記事項)

昨年同様、卒業生のフォローは非常に大切なことであるので今後も継続してやっていただきたい。昨年度国家試験合格率は新卒と既卒共に 100%という素晴らしいものであったので、次年度以降継続できるよう望む。

(5) 学生支援

評価項目	評点
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	5
学生相談に関する体制は整備されているか	5
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
保護者と適切に連携しているか	5
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	5
企業等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	5
(特記事項)	
適宜学生に対するヒアリングは昨年度同様に行われており、学生の意見が反映された学校運営がされるようになったと感じられる。また、必要に応じて保護者を交えた三者面談も実施しており、次年度以降も是非ともこれを継続して行っていただきたい。	

(6) 教育環境

評価項目	評点
施設・整備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
学内外の実習施設、インターンシップ等について十分な教育体制を整備しているか	4
防災に対する体制は整備されているか	3
(特記事項)	
今年度は補助金を用いてCADソフト8セット、模型スキャナー2台、3Dプリンターを1台導入した。しかし、切削加工機の導入はまだなので次年度以降に是非ともその導入を求む。デジタル歯科技工の授業も行われ、最新歯科技工技術を供することができたので、次年度は更に充実した授業展開を行ってほしい。	
昨年同様、校舎に関しては、雨漏りなど、校舎に老朽化がみられるので、計画的な長期補修工事を望む。	

(7) 学生の受け入れ募集

評価項目	評点
学生募集活動は、適正に行われているか	5
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	5
学納金は妥当なものとなっているか	5
(特記事項) 今年度は積極的にオープンキャンパスや SNS での発信を地道に継続した結果、現時点で 5 人弱の入学希望者を集めたので、この調子で継続して行っていただきたい。	

(8) 財務

評価項目	評点
財務状況を教職員が把握できているか	4
(特記事項) 特に問題はみられない。	

(9) 法令等の遵守

評価項目	評点
法令、専修学校設置基準等の遵守および適切な運営がなされているか	5
自己評価結果を公開しているか	5
個人情報に関してその保護のための対策は行っているか	4
(特記事項) 自己評価および本評価をきちんと分析して学校運営に役立てていただきたい。	

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	評点
地域のボランティア活動等に参加しているか	—
(特記事項) 今年はコロナ禍の影響で地域との交流は感染防止の観点から自粛をしているので、評価ができない。	

(11) 国際交流

評価項目	評点
海外のデンタルショー等に参加しているか	—
(特記事項) 今年はコロナ禍の影響で展示会等が実施されていないので評価ができない。	

(12) 総評

念願の職業専門実践過程も認可されより一層専門性を高めた教育を継続していくために、これからも頑張ってもらいたい。また、デジタル歯科技工学に関する授業をもっと増やして、昨今のデジタル技工のパイオニアを育成できる素晴らしい学校にしていってもらいたい。

また敷地内に開設された歯科技工所も大いに活用して、学生の歯科技工に対するモチベーションの向上や実践を見据えたインターンシップ等を行っていただきたい。

**【採点基準】**

5：非常に良い、4：良い、3：普通、2：悪い、1：非常に悪い、－：非該当